

## 言語聴覚士に ご相談ください

言語聴覚士は、病院や施設などで、次のように様々な援助を行っています。

### ●評価・情報収集

- 会話や必要な検査により失語症の特徴・重症度を判断します。

### ●リハビリテーション

- 言語能力の改善や、日常的なコミュニケーションを獲得するためのリハビリテーションを実施します。
- 残された機能を最大限に活用する工夫を行います。

### ●助言

- ことばのみでなく身振り・写真・絵・文字など様々な方法の中で、コミュニケーションのとりやすい手段をご本人やまわりの方々にご提案します。

### ●心理・社会面の援助

- ご本人やご家族のお話を伺いながら、問題解決に向けて一緒に考えます。
- 他の職種や失語症友の会などと連携を図ります。

コミュニケーションの問題は、しばしば心理的な問題をも引き起こします。ご本人がイライラしたり、落ち込んだりするのも無理はありません。このような時こそ、ご家族や周囲の温かい支えが必要です。

## 失語症友の会

失語症の方とそのご家族のための友の会が、全国各地で組織されています。石川県内でも、毎月各地でさまざまな活動をしています。

### 石川県失語症友の会事務局

〒920-8640 金沢市宝町13-1  
金沢大学大学院  
医学系研究科脳医科学専攻  
脳病態医学感覚運動病態学教室内

TEL 076-265-2413

表紙はリハビリ中の作品や私信会話ノートから作成しました。

### お問い合わせは…

一般社団法人 石川県言語聴覚士会事務局

〒923-8551 小松市八幡イ12-7  
やわたメディカルセンター  
言語療法室内

E-mail : info@st-ishikawa.com

<https://st-ishikawa.com>

## 言語聴覚障害シリーズ1

# 失語症



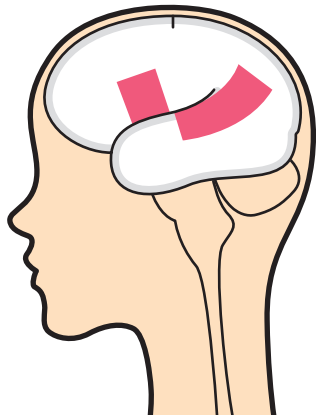
私自身としては今年も少しは自立の出来る年にして新しい世紀の出発にふさわしい年にしたいものです。前途は厳しいものがありますが、あせらず毎日の積み重ねが大事だと思います。

3月9日  
年令 (80)才  
よく笑い  
よく運動し  
よく眠る

## 失語症とは…

脳卒中や頭部外傷などにより、脳の言語中枢に損傷を受け、それまでに獲得した言語機能（聞く・話す・読む・書く）に問題が生じた状態を「失語症」といいます。お一人ずつ、重症度や目立つ症状が異なります。

### 言語中枢

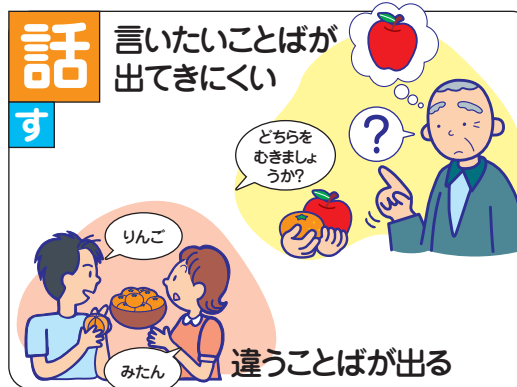


言語に関連する領域(左脳)

唇や舌の麻痺などによる構音（発音）の障害や、心理的な原因による発声の障害、認知症や精神疾患によることばの乱れとは別のものです。

より良い援助のためには、失語症について正しく理解することが大切です。

## 失語症の主な症状



## 失語症の方とのコミュニケーション

### ●失語症の方に話しかけるとき

- 短めのことばで、ゆっくりと話しましょう。
- 「はい」「いいえ」で答えられる質問や選択肢から選ぶ質問にしましょう。（ことばの出ない時）
- 話題を急に変えないようにしましょう。
- 身振りやキーワード、写真など、見てわかる手がかりを添えましょう。



### ●失語症の方の話聞くとき

- ゆっくり、せかさずに待ちましょう。
- 言いたいことを推測しながら、聞きましょう。
- わかったところまで確認しながら聞きましょう。
- よく使うことばや必要な事項をまとめたノートなどを使用しても良いでしょう。
- 50音表は、分かりにくく、役に立ちません。
- 疲れている時は無理せず、休憩しましょう。